

令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【高砂小・中・中等教育学校】

学力向上 アクションマップ

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する 資質・能力	(1) 自己の学びをメタ認知し、次の学習につなげていくことができる資質・能力 (2) 協働的な学びを通して、学びを深めていくことができる資質・能力
↓	
実施する学力向上策 【時期・頻度】	(1) 児童が自らの学び・学び方について振り返る時間を設定し、次の学習に生かせるようにする。【各単元の中で1回以上】 また、児童の振り返りをもとに、児童にとって必要感のある課題や児童が主体的に課題に取り組む場を設定する【単元の中で数回】 (2) 風通しのよい集団づくりを土台とするとともに、活動の中にICTの効果的な活用を位置付け、協働的な学びを通して自己の考えを表現したり、深めたりすることができる場を設定する。【各単元の中で1回以上】

ざらざら(構円)

⑤	年度末評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	
↓		
今年度の成果と 次年度の課題		

- 1 結果分析(管理職・学年主任等)
- 2 詳細分析(学年・教科担当)
- 3 分析共有(児童生徒の実態把握)

結果提供(2月)

②	全国学力・学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果		
↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態		

調査の振り返り(4月)

結果から考えられる児童生徒の実態(7月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果		
↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態		

- 1 学校全体での取組
- 2 単元テスト・定期テスト等の分析・活用
- 3 中間評価を経た取組
- 4 調査結果を活用した授業

③	中間評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	
↓		
学力向上策の 見直し		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

教育研究所